

実践テーマ

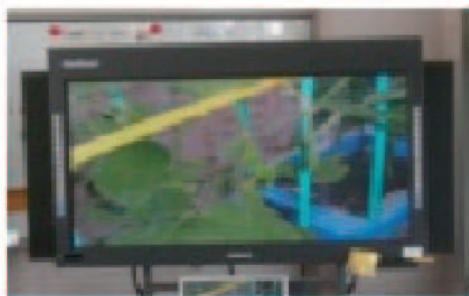
栽培している野菜の様子をデジタルカメラで撮影した写真を提示し、観察のポイントを書き込みながら、以後の成長の仕方を予想する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 あらかじめ撮影しておいた野菜の写真をスライドショーで電子黒板上に提示し、クイズ形式で野菜の名前を尋ね、本時のめあてをつかませる。(興味・関心を高める)
- 〈展開〉 一つの野菜の花を取り上げ、つぼみから開花、子房の成長の写真を連続的に電子黒板上で提示し、電子黒板上で書き込みを行い、花から実へ変化していくことをとらえさせる。

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動 | 使用する教材 (デジタルコンテンツ等) |
|-------|--|---|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ撮影しておいた野菜の花の写真を提示して、クイズ形式で野菜の名前を確認する(静止画①)。 学習問題「野菜はこれからどうなるかしらべよう」の提示。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自作写真(児童が育てた野菜の成長記録を撮影) |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> 児童が育てたきゅうりの雌花を取り上げ、つぼみから開花、子房の成長と変わっていくところを提示し、他の野菜でも花から実へ変わっていくこととおさえる(静止画②)。 花の中で将来実になる部分はどこか、画像に書き込みながらクラス全体で話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自作写真(児童が育てた野菜の花の成長記録を撮影) |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> 自分の栽培している野菜を観察する(観察ノートに記録する)。 | |



クイズ形式で野菜の名前をたずねる



つぼみから開花、子房の成長写真を連続的に提示

児童の反応・効果

- ・画像を映し出すことで興味関心が高まり、本時のめあてをとらえやすかった。
- ・個人の観察だけでは連続してとらえにくい成長のようすを、電子黒板に拡大提示し、書き込みを行ったことで微小な変化に気づき花から実への変化について理解が深まった。

活用のポイント

- ・本時は、スライドショーで提示する画像を変えていったが、電子黒板のキャプチャー機能を活用したり、印刷し児童に配布したりすることで、本時の活動の後半や次時でも資料として活用できる。